

質問 所議員（自民 揖斐郡）令和8年3月18日（水）

2 地域との共存を目指す FC 岐阜について

（1）FC 岐阜に対する知事の思いについて

答弁 知事

FC 岐阜でございますが、先ほども色々ご説明いただきましたけれども、県及び42市町村、360のスポンサー企業・団体、さらには多くのサポーターに支えられる、「県民プロサッカークラブ」の位置付けでございます。

ホームゲーム開催時には、市町村毎に地域の特産や観光PRを行う「ホームタウンデー」これを開催するなど大いに賑わい、昨年の平均観客数は約4,700人とJ3・20クラブ中、6番目となっております。

また、クラブが「ホームタウン活動」として行います、市町村を巡ってのサッカー教室や高齢者体操教室など、一昨年の活動数は計593回と、Jリーグ全60クラブ中で14番目の実績を挙げているところでございます。

さらに、若手選手の育成にも積極的に取り組み、これまでに年代別日本代表やプロ選手を輩出するなど一定の成果を上げております。

このように、FC 岐阜は本県のスポーツ振興にとどまらず、地域振興や次世代育成にも大きな役割を果たしていると認識しております。

一方、昨年前半までチームの成績は、芳しくありませんでした。そうした中、昨シーズン中盤の苦しい局面ではありましたけれども、私も激励に行って来いと言われて、練習現場、合宿所にお邪魔させていただきました。何かお役に立てばということで、武道の心得だとか、動作の基本となる力の抜き方、丹田の使い方、そんなことをご教示させていただきました。

その後、後半戦では、新たにお迎えした石丸監督のもと、アグレッシブな戦いによりましてクラブ新記録となります7連勝を達成するとともに、現在開催中の百年構想リーグでのJ2のチーム相手の4連勝など、今後への期待を抱かせる戦いを見せていただいているところでございます。

FC 岐阜の大きな強みというのは、何と云ってもどのような局面でも熱い気持ちでチームを鼓舞し続けるサポーターの存在でございます。

8月から新たなシーズンが始まりますが、FC 岐阜には、クラブ理念である「子どもたちに夢を」、「感動を共に」これを胸に、どんな逆境にあっても最後まで諦めず、攻め続ける姿勢を見せ、県民とりわけ次代を担う子どもたちの憧れの存在となることを期待しているところでございます。

先の冬季オリンピックでも、県出身のメダリストであります村瀬心椛選手や堀島行

真選手をはじめとする出場選手が「地元の応援が力になった」と語っておられました。スポーツにとって、応援の力は選手やチームを後押しし、勝利へと導く大きな力になるものと考えております。

このため、県としましては、新たなサポーター層の獲得に向けた取組を進めるなど、これまで以上に応援の輪を広げ、勝利につながる環境づくりに取り組んでまいりたいと考えております。

また、市町村やスポンサー企業・団体、後援会の皆様と連携しまして、FC岐阜が県民に愛されるクラブとして地域に根ざし、再びJ2に復帰し、さらにはJ1を目指して挑戦を続けていけるよう、引き続きしっかりと支援してまいりたいと考えております。

担 当 課	地域スポーツ課
電話番号	058-272-1836
メ ー ル	c11172@pref.gifu.lg.jp